

2015-07試験問題の解答例等（白石忠志）

第1問

1

【解答例】

これらの条項は、出版社に対し、アマゾンに提案した条件よりも有利な条件や別の条件をアマゾンの競争者に提案している場合にはそのことをアマゾンに知らせ、及び／又は、競争者に提案している条件に似た条件をアマゾンに提案することを、要求し、あるいは、競争者が受けている条件と少なくとも同等の条件の提案をアマゾンが受けることとなるよう別の方法によって確実にしている。

【説明】

この問題文でのand/orとorの論理関係（あるいはrequire, inform, offer, ensureの論理関係）には複数の見方があり得るかもしれず、したがって、そのあたりは採点では加減の対象としていない。

もちろん、細かい用語等も加減の対象としていない。

つまり、大意をとれているか否かだけを見ている。

2

【解答例】

- ・競争者の新たな取組を早めに知って手を打つことによる他者排除。
- ・競争者の手のうちを読めるようになることによる協調的行動。

【説明】

垂直型企業結合で出てくる情報入手の懸念の具体的内容は、地上1階の垂直的拘束においても応用できることを、この機会に理解してもらいたい。また、授業では必ずしも正面から取り上げなかった「最恵国待遇条項」が、授業で得た基本的知識の応用によって対応可能であることも、この問題は示している。

第2問

【解答例】

減額が濫用行為に当たらないとされるためには、

- (1) 相手方にあらかじめ計算できない不利益を与えるものでなく、かつ、
 - (2) 相手方に過大な不利益を与えるものでもない、
- ことが必要とされる。

(1) が満たされる場合としては、Iの事例のように相手方からの申出によって減額を行ったときと、Cの事例のようにあらかじめ包括的に相手方と合意していたときの、2種類のいずれかが、少なくとも考えられる。前者の、相手方からの申出という点については、行為者からのメールの文面のなかに、相手方の申出ではなく行為者からの提案であったのではないかと疑われる部分があったために、事実認定の観点から少々争いとなっていることに注意を要する。

(2) が満たされるためには、相手方の直接の利益等の範囲内の減額であることが必要であり、Iの事例でもCの事例でも、減額が、新商品の販売促進のために旧商品を行為者の顧客に対して値引き販売するための原資となっているために、直接の利益等を超えていないとの認定がされている。相手方Iの事例では、Iの意見書にその趣旨が明確に書かれていたとみられることが重要であったと考えられる。相手方Cの事例では、あらかじめの合意のなかで限度額・対象商品や減額の条件を明確に定め、それに従って減額をしていたことが重要であったと考えられる。

【説明】

「減額が濫用行為に当たらないとされるための条件」という文章は、今後のレファレンスのために作成するのであると考えられる。したがって、Iについてまとめ、Cについてまとめ、上記解答例の(1)(2)を最後に書いたような文章よりも(それなら原文を見たほうが早く、しかも正確である)、上記解答例のように、最も基本的なことを最初に書き、それぞれについて、Iの事例とCの事例とを横断して、項目ごとに書いたような文書のほうが、今後の参考としやすく、有益であると考えられる。さらに、Iの事例のメールの件のように、認定に紛れがあったものについて、上記解答例のように注意を喚起するという方法も考えられる。

第3問

【解答の参考】

供給の代替性については、公正取引779号12～14頁にまとめたので、ここでは省略する。

【説明】

問題文で触れた平成26年度企業結合事例集の2件は、いずれも、一定の供給の代替性が認められたにもかかわらず1個の一定の取引分野にまとめられることがなかったものが含まれている点に、これまでに必ずしもなかった特徴があり、そのことに授業でもかなり触れたのであるが、そのことに言及している解答は僅かであった。

全体的に

第3問について述べたように、第3問ではほとんど差がつかなかった。第1問と第2問で、それなりに良かった答案が、Aとなっている。第3問で、それなりに平成26年度事例の特徴を指摘した答案は、概ね、第1問と第2問もそれなりに良かった。

最優秀答案と目された答案は、第1問と第2問において余計なことを書かずポイントを過不足なく適切に拾っている答案であったが（ちなみに字も大きく読みやすい）、残念ながら第3問が十分でなく、A+とするのは躊躇され、Aとした。

したがって、今回はA+がゼロであったが、Aは32.6%であり、必ずしも上のほうに厳しい試験ではないつもりである。上記の最優秀答案と目された答案が、平成26年度事例の特徴に言及し、もう少し供給の代替性の概念について基本的なことを書けていたなら、A+で、しかも90点台のかなり上のほうとなったであろう。

以上